絵本学会
入会の
ご案内

絵本学会は、様々な領域から多角的に絵本について考えていくための場として、また絵本に関心を持つ人々の交流の場として、1997年に設立されました。

本会は、絵本の研究者、作家やデザイナー、編集者、図書館員、美術館員、書店員、教員、保育士ほか、子どもに関わる様々な方々、福祉・医療・社会教育に関わる方、読み聞かせや手作り絵本等の活動に携わる方、絵本が好きな方などなど、広範囲な人々から構成されています。

絵本に関心を持ち、知的に創造的に、これに取り組もうという方であれば、どなたでも歓迎します。ご入会をお待ち申し上げます。

■ 絵本学会設立趣旨（1997年）

今日、絵本表現の場は想像以上に広がっています。考え方や対象の定め方も様々なら、表現性も実に多様です。多様な表現の世界を持つこれらの絵本を、単純な概念で分類することには無理があります。しかし、絵本の形式がそれほど単純でないことが十分承知されながら、一般的には、教育的意味や文学的意味をもって語られることが多いのが実状です。

絵本は、様々な要素を総合することで成り立っています。内容を表す絵と文、絵と文の表現方法や構成、複製するための印刷、用紙、装丁等々。これらがバランスよく組みあわされて絵本の芸術性やメディアとしての価値を生み出しています。絵本は、デザインとしての造形手法を内在し、視覚言語や視覚コミュニケーションの本質に触れる表現性も持っています。絵本は、一面的な絵画的評価や文学的評価だけにとどまらず、メディアや芸術表現といった分野を含め、もっと多角的な表現の視座からもとらえる必要があります。絵本の評価は、もっと幅広い表現の分野に置かれるべきでしょう。

絵本を固定した一つの表現形式とみなすだけでなく、表現の位相を把握し解明していくための研究が、新しい視野を拓くものと期待されるのです。それは、絵本学とも呼ぶべきものであり、絵本というメディアを介して研究される新たな学問領域だといえるでしょう。

そのためには、従来の絵本領域の枠組みを越えた、造形学、美学、美術史、哲学、記号学、論理学、教育学、言語学、心理学、文化人類学などの諸科学、また、デザイン、絵画、映画、演劇、文学、漫画その他様々な分野の専門家相互の協力による情報交換、共同研究が望まれます。

絵本学という独自の学問領域の確立を目ざし、私たちは、絵本学会を設立しました。

■ 詳細はホームページをご覧下さい。

http://www.ehongakkai.com

■ 入会手続きのご案内

◎本会は、「正会員」「準会員」「賛助会員」からなります。

「正 会 員」：絵本研究および絵本に関心を持つ方で、大学院博士課程（または大学院博士課程後期）学生等を含む

「準 会 員」：a. 大学および短期大学、専門学校などに在学中の学生

b. 大学院修士課程および博士課程前期などに在学中の学生

「賛助会員」：本会の趣旨に賛同し、その事業を援助する企業、団体等の組織

◎入会をご希望の方は、絵本学会事務局までメールまたは、郵便でご連絡ください。入会希望の旨を記し、住所・氏名と職業・職種をご記入の上、ご送付ください。折り返し、「入会の案内書」「会則」などを発送いたします。

◎会員の会費は年額

正 会 員 ･･･ 8,000円

準 会 員 ･･･ a. 2,000円、b. 4,000円

賛助会員･･･ 一口 20,000円を一口以上

なお、賛助会員以外の会員については、入会金 2,000円を要します。

©Yasunari Murakami 2017

■絵本学会事務局

〒448－0852 愛知県刈谷市住吉町4-5

刈谷市美術館内 絵本学会事務局

TEL：0566-23-1636　FAX：0566-26-0511

HP: http://www.ehongakkai.com

E-mail: office@ehongakkai.com